

「パイオニア添加機EZ(日本モデル)」の使用方法

2021年4月1日改訂

①準備

1. ミックスボトル(容量5,000ml)に乳酸菌の粉末と250t用ボトルあたり約2,500mlの水を入れ、ダマが無くなるまで良く混ぜる。
2. このミックスボトルに水を追加し、250t用ボトルあたり5,000mlの水溶液にする。
*原料草1トンあたり20ml添加
3. 水溶液の入ったミックスボトルを添加機に設置、又は水溶液を水タンクに入れる。
4. ホースの付いた蓋をミックスボトル/水タンクに取り付ける。
5. 別のミックスボトルに洗浄用の水を約2,500ml入れておく(収穫作業後の洗浄用)。

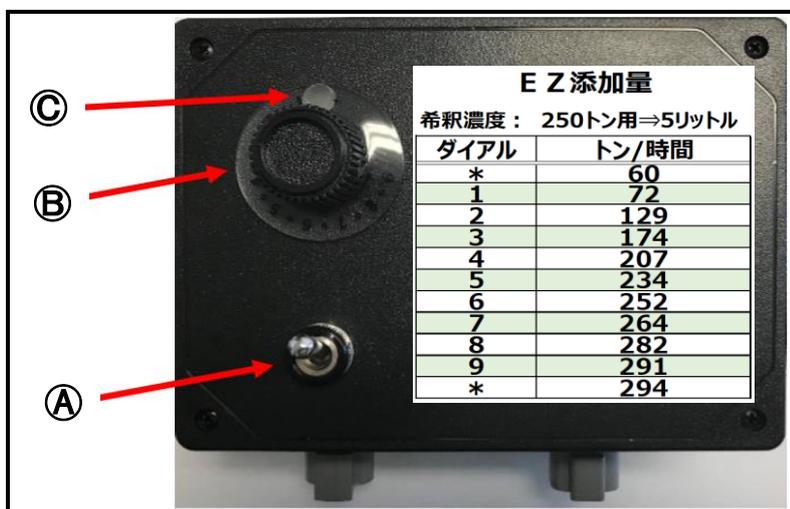
②操作方法

オート(AUTO)機能がある場合

1. 自走ハーベスターを始動させる。
2. 添加機のコントローラーのON/OFFスイッチ①をONにし(②が点灯する)、ダイヤル③を最大にして、ホースのノズルの先端近くまで水溶液を満たす。
3. 早見表を参考に添加量のダイヤル③を合わせ、一度コントローラーをOFFにする。
*添加量は収穫状況に応じて適宜調整する。
4. ハーベスターのオート(AUTO)スイッチをONにする。
5. 収穫を開始したら、コントローラーのON/OFFスイッチ①をONにする。
6. 収穫中、オート(AUTO)機能が作動する。
* 収穫態勢(ピックの下げ・フィードロールの回転・前進)に入ると自動で添加が始まる。
* 上記の収穫態勢のいずれかを止めた場合に、添加が自動で止まる。
7. 収穫・添加作業が終了したら、コントローラーのON/OFFスイッチ①をOFFにする。
* ハーベスターの電源をOFFにしてもコントローラーの電源はOFFにならず、添加が止まらないことがある。

オート(AUTO)機能がない場合

1. コントローラーのON/OFFスイッチ①で、添加または停止させる。



③作業終了後

翌日も収穫作業を行う場合

1. ホースの付いた蓋を、水を入れたミックスボトルに付け替える。
2. 添加機を作動させ、コントローラーの流量ダイヤル⑥を最大にし、
水を5分以上噴霧して、ホースやノズルを洗浄する。
3. 乳酸菌の水溶液が残った場合：
* 外気温が20℃未満の場合は、ミックスボトル/水タンクはそのままが良い。
* 外気温が20℃以上の場合は、本体からミックスボトル/水タンクを取り外し、
冷蔵庫で保管する。

収穫作業を翌々日以降まで中断する場合

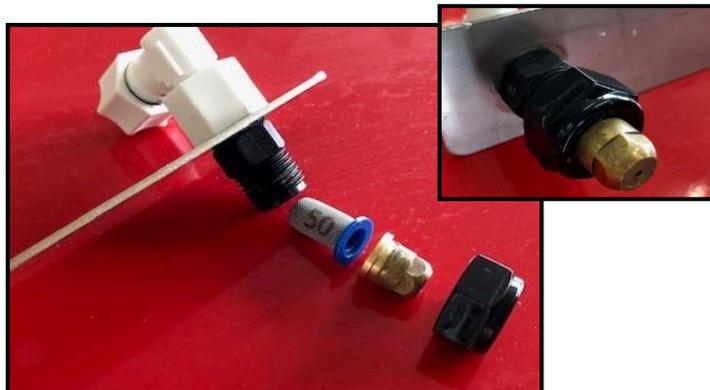
1. 上記の1. 2. の洗浄作業を行う。
2. 本体からミックスボトル/水タンクを取り外し、冷蔵庫で保管する。
3. この希釈濃度(250トン用⇒5,000ml)では、冷凍保存できないので、
5日以内に使いきるようにする。
*希釈濃度250トン用⇒2,500mlであれば冷凍保存できるので、始めにこの濃度で溶かし、
使用直前に2倍に薄めれば使用不可になるリスクが減る。

④メンテナンス

1. 毎日の作業終了後、フィルター(本体とノズルの間)【写真①】、先端ノズルと
先端フィルター【写真②】を水洗いする。



写真①: フィルター
(本体とノズルの間)



写真②: 先端ノズル、先端フィルター



パイオニア エコサイエンス株式会社